広報 わかさ

Kouhou Wakasa

2020 6月号
No.182

[特集] 02
若狭町上下水道ビジョン

06 ドキ! DOKI ! 情報局

10 情報BOX

14 シリーズ企画
わが村自慢 特別編 [梅の里花植え隊]

Wakasa Town Water and Sewerage Vision

若狭町
上下水道ビジョン

上下水道は住民の生活と社会活動を続ける上で最も重要なライフラインの一つです。

そうした中、上下水道事業とも、これまで、料金を出来る限り抑えながら、管理経費の削減等、経営の効率化による健全経営に努めてまいりました。

しかしながら、この間、水道・下水道サービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴い、更新需要が増大する一方で、人口減少や節水機器の普及により水需要が低下し、収入の減少傾向が顕著となってまいりました。さらには、職員数の減員、働き方改革の中での効率的な事業運営、台風や豪雨、地震等による災害対策の充実も課題となっており、経営環境は一段と厳しさを増してきています。

こうしたことを背景として、これまでの上下水道事業の取り組み内容を整理するとともに、若狭町における上下水道事業の目指すべき将来像である基本理念と基本目標を明確にし、その実現に向けた具体的な実施方策を示した、「若狭町上下水道ビジョン」を策定し、事業を展開してまいります。

■主な課題

施設の老朽化と施設の大規模更新時期の到来

（漏水、井戸水源、不明水、ポンプ設備故障等）

《上水道･下水道》

放流ポンプ　発錆･能力低下

上下水道施設とも、今後大規模な更新時期を迎えます。特に、耐用年数が短い電気、機械設備については、定期的な更新が必要になります。

- **基金残高の減少と経営基盤の強化**《上水道･下水道》
- **小規模な簡易水道等の安全･安定供給の確保**《上水道》
- **人口減少による効率的な施設運営への対応**《上水道･下水道》
- **各種災害の発生への対応**《上水道･下水道》

基本理念

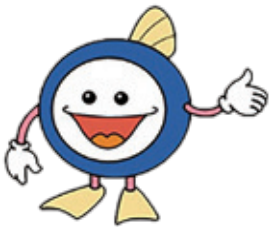
安全で安心な上下水道に向けて

上下水道事業が、将来に渡って住民生活に当たり前のように寄り添い、そして、世代を超えて未来永劫に安全で安心して提供し続けていくことが住民全体の願いです。

そこで、若狭町の上下水道の基本理念を「安全で安心な上下水道に向けて」とし、実現に向けて取り組んでいきます。

基本目標

町の「総合計画」、そして、国が定める「新水道ビジョン」、「新下水道ビジョン」、事業そのもの役割、さらには、SDGs（持続可能な開発目標）※の考え方等を踏まえ、基本理念を実現するための基本目標を「安全」「強靱」「持続」「環境」とします。



下水道マスコットキャラクター
スイスイ

1 安全

適正な水質管理に基づき、
いつまでも住民が安心して利用できる、
安全で信頼される上下水道

①水道の水質管理体制の充実
②下水処理場等の水質管理体制の充実
③集落管理の簡易水道の統合

2 強靱

危機管理体制の確立により、
災害に強く、たくましい上下水道

①施設の耐震化の推進
②危機管理体制の充実
③漏水防止対策の推進
④下水道の施設管理の徹底

3 持続

将来を見据えた健全な
事業運営により、いつまでも
住民の近くにありつづける上下水道

①強固な事業経営の確保
②施設の効率化、老朽化施設の更新
③水源の安全性の維持
④住民との協働と民間活力等の導入

4 環境

環境にやさしく、
水循環に貢献する上下水道

①資源の有効利用
②環境対策の推進

水道マスコットキャラクター
Dr. すいどー

※ SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs（エスディージーズ）とは?

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

上水道の整備計画

施設の更新等、現状抱えている課題を整理した上で、前回の計画の内容を見直し、将来に渡って水道事業を維持していくために不可欠な事業を網羅した新たな整備計画を策定し、水道事業を運営してまいります。

期間 **20年**

第1期／令和2年～令和11年
第2期／令和12年～令和21年

過去の綿屋橋漏水の状況

過去の更新前の井戸（三十三）の状況

■主な整備内容

上水道
1.熊川浄水場関連 新浄水場建設など
2.老朽化した管路の更新など

簡易水道
新井戸、配水池増設、管路更新、施設の統廃合など

■計画に対する概算事業費

第1期	第2期	合　計
50億円	40億円	90億円

下水道の整備計画

現在若狭町では、17の処理区にそれぞれ処理場を設けて下水道事業を行っていますが、今後、人口減少による汚水量の低下、施設の老朽化に伴う更新及び維持管理費の増大することが予想されます。

そこで、処理区の統合を含め、既存施設（処理場、ポンプ場、管路）の必要な更新についても適切な時期に順次実施し、下水道事業を運営してまいります。

期間 **20年**

施設統合の構想については30年

はす川西処理場

熊川処理場

■施設統合

第1期計画
（R2～R12）
17処理区 → 11処理区
▶はす西、世久見、遊子、神子、熊川、杉山の統合

第2期計画
（R13～R21）
11処理区 → 9処理区
▶堤、上中鳥羽の統合

第3期計画
（R21～　　）
9処理区 → 6処理区
▶三十三、田井、野木の統合

■計画に対する概算事業費

第1期	第2期	合　計
20億円	50億円	70億円

財政シミュレーション

●上下水道事業を将来に渡って、維持していくためには、整備計画にもとづく投資がどうしても必要となります。

●その場合、料金収入の上昇幅は、シミュレーション期間の20年間で考えると、1.8倍から2倍以上にする必要があるということになりましたが、一般会計からの繰入（補助）を調整すること等により、段階的に料金改定を行うことにしております。

●その結果、まずは上下水道料金とも、令和3年から現行料金の1.3倍程度の値上げをお願いする必要があるということになりました。

水道マスコットキャラクター
Dr. すいどー

- 事業の実施にあたっては、計画数値を上限とし、継続して事業費、起債の圧縮に努めていきます。
- 今後の各事業における公営企業会計への移行状況を注視していきます。
- 事業の実施状況、料金収入状況も含めた決算内容及び町の財政状況等を十分に審査し、今後も継続して委員会等にて審議していきます。

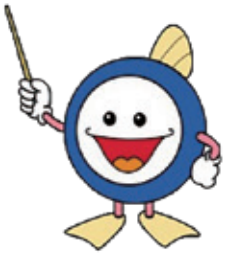
審議委員会の実施

実現に向けて

上下水道事業は、事業者である町と使用者である住民が強く結びついている事業です。

そして、現在直面している上下水道施設の老朽化の問題、さらに、今後の人口減少や維持経費等の増大による上下水道会計の厳しい財政状況の問題は、事業者である町だけでは無く、使用者である住民にも直結した問題といえます。

そうしたことから、今年2月の町上下水道事業経営審議委員会からの報告書の中でも、「上下水道の使用者である住民自身は受益者であるとともに、経営を支える主体であるということ、そして、上下水道施設は住民みんなの財産であることを理解していくことが重要である」としています。



下水道マスコットキャラクター
スイスイ

今後、今回策定された上下水道ビジョンにもとづき、住民の皆さまにとって重要なインフラである上下水道事業について、町と住民がいっしょになって考え、そして、いっしょに守っていきましょう。

審議委員会からの報告

若狭町上下水道ビジョンは、町のホームページでご覧になれます。

若狭町上下水道ビジョン　検索